

HSK1級文法□PDFダウンロード

51・2026-10-07

各PDFには選択した級の公開済み項目をすべて収録します。画面の読み込み件数には制限されず、下位級の累計ではありません。HSK Studioの学習資料であり、市販教材のスキャンや公式過去問題ではありません。

1. 可以：許可

主語＋可以＋動詞

「可以」は許可を尋ねたり示したりする際に頻繁に使われます。

「可以」は動作を表す動詞句の前に置きます。許可を尋ねるときは文末に「吗」を付けます。実現可能性などの用法もあるため、文脈で判断します。

我可以坐这里吗？

Wǒ kěyǐ zuò zhèlǐ ma?

ここに座ってもいいですか？

你可以看这本书。

Nǐ kěyǐ kàn zhè běn shū.

この本を読むことができます。

2. 呢：続けて尋ねる□所在を尋ねる

名詞／代詞＋呢？

名詞や代名詞に「呢」を付けると、前の質問を受け継いだり、何かの所在を尋ねたりできる。

「我很好，你呢？」では「你怎么样」が省略されており、「我的书呢？」では本の所在を尋ねている。文脈で機能が決まり、すべての「呢」が動作の進行を示すわけではない。

我很好，你呢？

Wǒ hěn hǎo, nǐ ne?

私は元気です、あなたはどうかですか？

我的书呢？

Wǒ de shū ne?

私の本はどこですか？

3. 名詞性述語の限定的使用

主語＋日期／年齢／数量表达

特定の日付、年齢、数量の表現は直接述語として使える。

「今日は水曜日」や「私は十八歳です」のように、是（是）を省略できるが、教師ですのような任意の名詞には拡張できない。

我今年十八岁。

Wǒ jīnnián shíbā suì.

私は今年十八歳です。

今天星期三。

Jīntiān xīngqīsān.

今日は水曜日です。

4. 「不」と「没（有）」の否定

不＋动词／形容词；没（有）＋动词；没有＋名词

不は習慣□意志□状態を否定することが多く、没（有）は起こった動作を否定することが多い。没有は所有を否定することもできる。

「没」で動作が起きたことを否定するとき、通常は完了の「了」を省きます。過去でも必ず「没」を使うわけではありません。「昨天不想去」では「不」が意欲を表す動詞「想」を否定します。

我昨天没有去学校。

Wǒ zuótiān méiyǒu qù xuéxiào.

私は昨日学校に行きませんでした。

我不喝茶。

Wǒ bù hē chá.

私はお茶を飲みません。

5. 还：補足または継続

主语＋还＋谓语；……，还……

还は別の項目を補足したり、状態や動作が続くことを示したりします。

通常は述語の前に置かれます。例：还买了衣服は別の動作を加え、还在家は状態が続くことを示します。文脈で意味が決まります。

我买了书，还买了衣服。

Wǒ mǎi le shū, hái mǎi le yīfu.

本を買った、そして服も買いました。

他还在家。

Tā hái zài jiā.

彼はまだ家にいる。

6. 場所＋是：所在するものを識別する

处所＋是＋名词

場所の後に「是」を置き、そこにあるものが何かを示します。

「学校前边是医院」は学校の前の場所が何かを示します。「有」はその場所に何かが存在することに焦点を置きます。

学校前边是医院。

Xuéxiào qiánbian shì yīyuàn.

学校の前は病院です。

这边是学校。

Zhèbiān shì xuéxiào.

こちらは学校です。

7. 吗：はい／いいえ疑問文

陈述句＋吗？

吗は陳述文をはい／いいえで答える疑問文に変えます。

「你是学生」のような文の後に吗を付けてはい／いいえで答えられるようにします。誰、何など具体的な情報を尋ねるときは、通常文末に吗は付けません。

你是学生吗？

Nǐ shì xuésheng ma?

□□□□□□□□□□

你是老师吗？

Nǐ shì lǎoshī ma?

あなたは先生ですか？

8. 形容詞の述語と程度

主語＋很／非常＋形容詞

形容詞はそのまま述語になり、程度副詞が程度を表します。

中立的な形容詞述語は、形容詞の前に「很」を置くのが一般的です。名詞で身分を述べる文とは異なり「是」は不要です。「很」は自然な文を作る働きもあり、必ずしも高い程度を強調しません。

今天很冷。

Jīntiān hěn lěng.

今日はとても寒いです。

她非常高兴。

Tā fēicháng gāoxìng.

彼女はとても嬉しいです。

9. 呼称の接頭辞と序数

小＋姓／称呼；第＋数詞

姓の前に「小」を付けると、知人同士の親しみを込めた呼び方になる。「第」を数詞の前に付けると序数になる。

小林のように「小」を付けて呼ぶときは、関係性や礼儀を考慮する必要があります。すべての名詞が自由に「小」を付けて呼べるわけではありません。第一、第二は順序を表し、二个や两个は序数ではありません。

我住第一个房间。

Wǒ zhù dì yī ge fángjiān.

私は最初の部屋に住んでいます。

小林是我的朋友。

Xiǎo Lín shì wǒ de péngyou.

小林は私の友達です。

10. 時間副詞は述語の前に置く

主語＋時間＋謂語；時間＋主語＋謂語

時間語は通常、述語の前に置かれる。

「我明天去学校」も「明天我去学校」も自然で、時間副詞の位置は一つに限定されない。

我明天去学校。

Wǒ míngtiān qù xuéxiào.

私は明日学校へ行きます。

明天我去学校。

Míngtiān wǒ qù xuéxiào.

明日は私が学校へ行きます。

11. 動賓短語と基本語順

主語＋動詞＋賓語

普通の動詞文は通常、主語-動詞-目的語の順序で並びます。

中立的な文では主語、動詞、目的語の順に「我吃米饭」と並びます。「看病／睡觉／说话」は自然な語の組み合

□□□□□□□□□□□□□□□□

我吃米饭。

Wǒ chī mǐfàn.

私はご飯を食べます。

爸爸喝茶。

Bàba hē chá.

お父さんはお茶を飲みます。

12. 『喂』と簡潔な交際語

喂，＋称呼／问句

『喂』は電話に出るときや相手を呼ぶときに使われ、簡潔な交際語は独立した文として成り立ちます。

電話の冒頭では『喂、你好』と言えます；語調は礼儀正しく、'喂'はすべての場面で'你好'の代わりにはなりません。

喂，你好！

Wéi, nǐ hǎo!

喂、こんにちは！

谢谢！

Xièxie!

ありがとう！

13. 吧：提案

动词短语／句子＋吧

文末に「吧」を付けると、提案したり語調を和らげたりできます。

「我们去学校吧」は一緒に行くことを提案しているだけで、事実かどうかを問う中立的な疑問文ではありません。

我们去学校吧。

Wǒmen qù xuéxiào ba.

学校へ行きましょう。

喝茶吧。

Hē chá ba.

お茶を飲みましょう。

14. 連動：行動と目的

去／来＋处所＋动词

去または来の後には別の動詞を続けて、行動の目的を示す。

去商店买东西：去商店が先に来て、买东西が目的を示す。接続動詞は不要。

我去商店买东西。

Wǒ qù shāngdiàn mǎi dōngxi.

私は店に行ってものを買います。

他来学校学习。

Tā lái xuéxiào xuéxí.

彼は学校に来て勉強します。

15. 想と要

主語＋想／要＋動詞；要＋名詞

想は願望や意図を表し、要は欲しいものややるつもりを表すことができる。

「想」は動詞句の前に置きます。「要」の後には動作、または欲しい物を置けます。「想」のすべての用法を「想要」と同じに扱いません。

我想喝水。

Wǒ xiǎng hē shuǐ.

私は水を飲みたいです。

我要一杯茶。

Wǒ yào yì bēi chá.

私はお茶を一杯欲しいです。

16. 年齢と期間

数詞＋歳；数詞＋年／天／小时／分钟

「歳」は年齢を表し、「年／天／小时／分钟」は期間を表せます。

年齢は「我十八岁」のように直接述語にできます。時間の長さは通常、説明する動作や状態の後に置きます。

「歳」は年齢を数え、期間は表しません。

我今年十八岁。

Wǒ jīnnián shíbā suì.

私は今年十八歳です。

我学习一个小时。

Wǒ xuéxí yí ge xiǎoshí.

私は一時間勉強します。

17. 几、多少、多＋形容詞

几＋量詞＋名詞；多少＋名詞；多＋形容詞

「几／多少」は数量を尋ねます。「多＋形容詞」は程度や年齢を尋ね、「多大」などがあります。

「几」は予想される小さな数量を尋ね、「几个人」のように量詞の前に置きます。「多少」は名詞の前に直接置くことも、量詞と使うこともできます。「多大」は年齢や大きさを尋ねます。「多」を常に数量詞とは扱いません。

你家有几口人？

Nǐ jiā yǒu jǐ kǒu rén?

あなたの家族は何人ですか？

这本书多少钱？

Zhè běn shū duōshao qián?

この本はいくらですか？

18. 是：身分とカテゴリ

主語＋是＋名詞

「是」は身分□カテゴリ□□同等関係を表す際に用いられます。

「我是学生」や「这是书」などの文で使用します。形容詞は通常「很」で表現し、是は使いません。

她是老师。

Tā shì lǎoshī.

彼女は先生です。

□□□□□

Zhè shì yì běn shū.

これは本です。

19. 也：～も

主語＋也＋谓语；……，也……

他の対象や項目が同じ状況であることを示す。

「也」は通常、主語の後、述語の前に置き、並列する動作も追加できます。否定形は中国語の「也不／也没有」です。

我喜欢茶，也喜欢牛奶。

Wǒ xǐhuan chá, yě xǐhuan niúǎi.

私はお茶が好きで、牛乳も好きです。

他也喜欢牛奶。

Tā yě xǐhuan niúǎi.

彼も牛乳が好きです。

20. 金額の表現

数詞＋元／块＋数詞＋分

金額は元、块、分などの単位で表すことができます。

「元」はより正式な言い方で、「块」は会話でよく使われます。「十元五分」は10.05元であり、10.5元ではありません。数詞は通貨単位の前に置きます。

这本书十元五分。

Zhè běn shū shí yuán wǔ fēn.

この本は十元五分です。

这个杯子五块。

Zhè ge bēizi wǔ kuài.

このカップは五块です。

21. 二と两

二十十；两＋量词＋名词

二と两はどちらも数の二を指すが、使われる位置が異なる。

普通の数量句は「两本书／两个人」とします。「二」は数を数えるときや「二十／第二／二月」に使います。

「两点／两百／两千」も自然です。二と两を単純な一つの規則で扱いません。

我有两本书。

Wǒ yǒu liǎng běn shū.

私は本を二冊持っています。

现在是两点。

Xiànzài shì liǎng diǎn.

今は二時です。

22. 有点儿と一点儿

有点儿＋形容词；形容词＋一点儿

有点儿＋形容词は程度が低いことを示し、形容词＋一点儿は少しの変化や比較を表すことができる。

有点儿冷は話し手の不快感を伴うことが多く、冷一点儿は比較や要望で使われます。位置が異なるため、両構造は完全に入れ替えられません。

□□□□□□

Jīntiān yǎodiǎnr lěng.

今日は少し寒いです。

这个杯子小一点儿。

Zhè ge bēizi xiǎo yìdiǎnr.

このカップは少し小さいです。

23. 太、真と感嘆

太＋形容词＋了；真＋形容词

『太...了』は程度が際立っていることを表し、『真』は感嘆を強めることができる。

『太好了』や『真好听』は評価にしばしば用いられ、『太...了』は必ずしも過度や否定的な意味を持つわけではなく、形容詞と文脈次第です。

太好了！

Tài hǎo le!

すごくいい！

她唱歌真好听！

Tā chàng gē zhēn hǎotīng!

彼女の歌は本当にすてきです！

24. 方位と位置

名词＋上／下／里／外／前／后；这边／那边

方位詞は物の位置を表します。

通常は「名詞＋方位詞」で、桌子上□房间里などです。这边□那边は方向や位置を表します。位置を表す句と上桌子のような動作構造は異なります。

书在桌子上。

Shū zài zhuōzi shàng.

本は机の上にあります。

猫在椅子下。

Māo zài yǐzi xià.

猫は椅子の下にいます。

25. 連動：方法と行動

方式动词短语＋动作动词

前の動詞句は後の行動の方法を示すことができる。

坐出租车去医院－タクシ□に乗ることが病院へ行く方法です。各動作の目的語に注意。

我坐出租车去医院。

Wǒ zuò chūzūchē qù yīyuàn.

私はタクシ□に乗って病院へ行く。

爸爸开车去公司。

Bàba kāichē qù gōngsī.

父は車を運転して会社へ行く。

26. 再：次の機会

主語＋再＋動詞

再は次の機会やこれから繰り返すことを表す。

ここでは、まだ起こっていない繰り返し動作として「明日再来」などを学ぶ。再は通常動詞の前に置く。過去の繰り返しを表す「又」と混同しないでください。

我明天再来。

Wǒ míngtiān zài lái.

私は明日また来ます。

请再说一下。

Qǐng zài shuō yíxià.

もう一度言ってください。

27. 数量と量詞

数詞＋本／个／家／口／块／件／只＋名詞

数量句は通常、数詞、量詞、名詞から構成されます。

量詞を名詞に合わせて「一本书／一件衣服／一只猫」とします。「个」は多くの一般名詞に使えます。時間や金額には独自の表現があり、すべての名詞に同じ規則を適用しません。

我买三本书。

Wǒ mǎi sān běn shū.

私は三冊の本を買いました。

家里有两只猫。

Jiā lǐ yǒu liǎng zhī māo.

家には二匹の猫がいます。

28. 和、对：対象

和＋人＋動詞；对＋人＋形容詞

和は共同参加者を、対は態度の対象を導く。

「和朋友学习」と「对学生很好」は異なる前置詞構造で、ここでの和は単に二つの任意の動作を並列させるものではない。

我和朋友学习。

Wǒ hé péngyou xuéxí.

私は友達と一緒に勉強します。

老师对学生很好。

Lǎoshī duì xuésheng hěn hǎo.

先生は学生にとっても親切です。

29. 年□月□日と曜日

年＋月＋日／号；星期＋数詞

日付は年□月□日の順で表し、曜日は週の中の一を示します。

月は数詞の後に「月」を付けます。書面の日付には「日」、日常会話には「号」をよく使います。曜日は「星期一」から「星期六」、日曜日は「星期日／星期天」です。

今天是五月三号。

Jīntiān shì wǔ yuè sān hào.

今日は5月3日です。

□□□□□□

Míngtiān shì xīngqītiān.

明日は日曜日です。

30. 人称代名詞と複数形

我／你／您／他／她／它；我们／你们／他们／她们／它们

「我／你／他」などは話し手□聞き手□他者を指し、「我们／你们／他们」などは複数を表します。

「您」は敬称です。「他／她／它」は書き分けます。複数代名詞には既に「们」があり、重ねて付けません。

「老师们」のような人を表す名詞にも「们」を付けられますが、普通の物や数量句には付けません。

我们是学生。

Wǒmen shì xuésheng.

私たちは学生です。

她们是老师。

Tāmen shì lǎoshī.

彼女たちは先生です。

31. 在／正在 と 呢

主语＋在／正在＋动词（＋呢）

動詞の前に在または正在を置くと、動作が進行中であることを示す。

「在／正在」は動詞の前に置いて進行中の動作を表します。「正在吃饭」の文末には「呢」を加えられます。進行に合わない状態語に機械的に使いません。「呢」には別の用法もあります。

他正在吃饭呢。

Tā zhèngzài chīfàn ne.

彼は今食事をしています。

妈妈在做饭呢。

Māma zài zuòfàn ne.

お母さんは料理をしています。

32. 接続詞なしの節の連続

分句，分句

二つの節は接続詞を使わず、順序と文脈だけでつながります。

授業が終わったら父が学校に来る。起きたら母が朝ご飯を作る—自然な出来事の順序で構成し、語順を乱さない。

我下课了，爸爸来学校。

Wǒ xiàkè le, bàba lái xuéxiào.

授業が終わったら、父が学校に来ました。

我起床了，妈妈做早饭。

Wǒ qǐchuáng le, māma zuò zǎofàn.

起きたら、母が朝ご飯を作ります。

33. 请：礼儀的なお願い

请＋动词

動作の前に「请」を置いて、礼儀正しい依頼を表す。

例：请喝茶、请坐这里；请は礼儀のマ□力□であり、過去や未来の時制を示すものではない。

请喝茶。

Qǐng hē chá.

お茶をどうぞ。

请坐这里。

Qǐng zuò zhèlǐ.

ここに座ってください。

34. 了：変化と新しい状況

句子+了

文末に置かれた「了」は、状況が変化した、または新しい状況が現れたことを示す。

今雨が降っているというのは新しい状況を示す。状態を表す語も文末に「了」を付けられる（例：他好了）。文末の「了」をすべて過去完了と解釈しないこと。

现在下雨了。

Xiànzài xià yǔ le.

今、雨が降っています。

他好了。

Tā hǎo le.

彼は良くなった。

35. 場所+有：存在

处所+有+数量短语+名词

場所の後に「有」を置き、そこに何かがあることを表します。

「桌子上有一本书」は机の上に本があることを初めて示します。対象が分かっているときは「书在桌子上」でその位置を述べられます。

桌子上有一本书。

Zhuōzi shàng yǒu yì běn shū.

テーブルの上に本が一冊あります。

家里有两只猫。

Jiā lǐ yǒu liǎng zhī māo.

家に猫が二匹います。

36. 時計の時間と半時間

数词+点+数词+分；数词+点+半

時間は点で、分は分で、半は30分を表します。

通常はまず時間を言い、次に分を言います。例：八点半は八時三十分です。分が10未満の場合は、八点零五分のように先頭に零を付けることが多いです。

现在是八点半。

Xiànzài shì bā diǎn bàn.

今は八時半です。

我九点十分上课。

Wǒ jiǔ diǎn shí fēn shàngkè.

私は九時十分に授業があります。

37. 能：条件が許す能力

主語＋能＋動詞

能は能力や現実の条件が許すことを表す。

ここでは現在の条件が許されているかを強調し、例えば「今日は行ける」のように使う。習得した技能だけを示すわけではない。能は動詞句の前に置く。

我今天能去。

Wǒ jīntiān néng qù.

私は今日行くことができる。

我现在能说话。

Wǒ xiànzài néng shuōhuà.

私は今話すことができる。

38. 都：総括

複数主語＋都＋謂語

都は、言及された複数の対象すべてが同じ状態であることを示す。

通常は主語の後、述語の前に置かれます（例：我们都去）。単一対象の全時間を表すために都は使いません。

我们都是学生。

Wǒmen dōu shì xuésheng.

私たちはみんな学生です。

他们都喝茶。

Tāmen dōu hē chá.

彼らはみんなお茶を飲みます。

39. 的：所有と修飾

修饰語＋的＋名詞

的は所有者または修飾語と名詞を結びつける助詞です。

「我的书／大的房间」のように「的」を使います。「我妈妈」など一部の親しい関係では省略できます。ただし「我的老师／我的书」でも常に省略できるという意味ではありません。

这是我的书。

Zhè shì wǒ de shū.

これは私の本です。

我的朋友很忙。

Wǒ de péngyou hěn máng.

私の友達はとても忙しいです。

40. 和：並列名詞

名詞＋和＋名詞

和は並列の人や物をつなげます。

名詞成分をつなげます、例：爸爸和妈妈；通常は全文をつなげる和ではありません。

爸爸和妈妈在家。

Bàba hé māma zài jiā.

お父さんとお母さんは家にいます。

我买苹果和面包。

Wǒ mǎi píngguǒ hé miànbāo.

私はリンゴとパンを買いました。

41. 学んで身につく能力（会）

主語＋会＋動詞

会は学習によって身についた能力を表す。

「会」は動詞句の前に置き、「会说汉语」のように習得した能力を表します。名詞だけでは動作を示せません。

「会」の予測などの用法はこの項目では扱いません。

我会说汉语。

Wǒ huì shuō Hànyǔ.

私は中国語を話すことができます。

她会唱歌。

Tā huì chàng gē.

彼女は歌うことができます。

42. 有：所有

主語＋有＋名詞

有 は人□物□数量を所有していることを示す。

「我有一本书」は所有を表します。否定形は「没有」で、「不有」ではありません。

我有一个女儿。

Wǒ yǒu yí ge nǚ'ér.

私は娘がいます。

我有一本书。

Wǒ yǒu yì běn shū.

私は本を一冊持っています。

43. 人や物を指し示す表現

这／那＋量詞＋名詞；这些／那些

这是近い対象、那是遠い対象を指し、这些□那些は複数を表します。

完全な数量名詞句では通常「这／那＋量詞＋名詞」とし、例は这本书です。这些□那些の後には名詞を直接置けません。口語の这人などでは量詞が省略されるため、省略をすべて誤りとはしません。

这本书是我的。

Zhè běn shū shì wǒ de.

この本は私のものです。

那些学生是我的朋友。

Nàxiē xuésheng shì wǒ de péngyou.

あの学生たちは私の友達です。

44. 了：動作の完了

動詞＋了＋賓語

動詞の後に付く「了」は、動作が完了したことを示す。

よく使われる形は「動詞＋了＋数量＋目的語」です。了は過去形と同じではなく、完了した動作を否定する場合は「没」を使い、了を省きます。

我买了三本书。

Wǒ mǎi le sān běn shū.

私は本を三冊買いました。

他喝了一杯水。

Tā hē le yì bēi shuǐ.

45. 在：所在と動作の場所

主語＋在＋处所；主語＋在＋处所＋动词

在は、あるものがある場所、または動作が行われる場所を示すことができる。

「在家」は場所を示す。「在家学习」は学習が行われる場所を示す。場所を表す前置詞句は通常動詞の前に置かれ、進行形の「正在」とは区別される。

我在家学习。

Wǒ zài jiā xuéxí.

私は家で勉強します。

老师在学校。

Lǎoshī zài xuéxiào.

先生は学校にいます。

46. 疑問詞と原位質問

谁／什么／哪／哪儿／怎么／怎么样

誰、何、どこ、どうなどの疑問詞は、尋ねられる成分の元の位置に置かれます。

名前を尋ねるときは「什么名字」、人を尋ねるときは「谁」、場所は「哪儿／哪里」、方法は「怎么」を使い、通常は「吗」を付けません。

你叫什么名字？

Nǐ jiào shénme míngzi?

あなたの名前は何ですか？

你住在哪里？

Nǐ zhù zài nǎlǐ?

あなたはどこに住んでいますか？

47. 一下：短時間の動作

动词＋一下

動詞の後に「一下」を付けると、短時間の行為を示し、依頼を和らげることが多い。

看や说などの動詞の後に使い、短時間の行為を示す。一回限りとは限らず、動作の量的成分としての「一下」になる。

请看一下。

Qǐng kàn yíxià.

ちょっと見てください。

请说一下。

Qǐng shuō yíxià.

ちょっと話してください。

48. 给：二重目的語

主語＋给＋人＋物

给は同じ文で受取人と物を二つの目的語として取ることができる。

私があなたに本をあげるように、受取人のあなたが先に来て、物の本が後に来る；给你买书の前置詞的用法と混同しないでください。

我给你一本书。

Wǒ gěi nǐ yì běn shū.

□□□□□□□□□□□□

妈妈给我一个苹果。

Māma gěi wǒ yí ge píngguǒ.

お母さんが私にリンゴをくれます。

49. 不要：勸告□禁止

不要＋动词

不要は、行動を勧めない、または禁止する際に使われます。

不要は動詞の前に置き、特定の場所でその動作をしないことを示す。必要を表す要とは異なり、普通の陳述を否定形に変えるわけではない。

不要在这里说话。

Bú yào zài zhèlǐ shuōhuà.

ここで話さないでください。

不要喝这个水。

Bú yào hē zhè ge shuǐ.

この水を飲まないでください。

50. 正反疑問文

动词／形容词＋不＋动词／形容词；有没有

肯定形と否定形を並べて、～かどうかを尋ねる疑問文です。

中国語の一般的な形は「是不是／去不去／有没有」です。中立的な正反疑問文では通常「吗」を重ねて付けません。

你是不是老师？

Nǐ shì bu shì lǎoshī?

あなたは先生ですか？

你有没有手机？

Nǐ yǒu méiyǒu shǒujī?

あなたは携帯電話を持っていますか？

51. 「杯」を量詞として

数詞＋杯＋饮料

「杯」は容器を指すことも、一杯分の量を表すこともあります。

語順は「数詞＋杯＋飲み物」で、例は「一杯茶／两杯水」です。「杯子」は容器の名前で、この数量句の量詞

「杯」の代わりにはなりません。

我要一杯茶。

Wǒ yào yì bēi chá.

お茶を一杯ください。

请给我两杯水。

Qǐng gěi wǒ liǎng bēi shuǐ.

水を二杯ください。